



ゆりぐみだより

2023年 5月 第1号

進級から1ヶ月が過ぎ、ますます元気一杯の子ども達。様々な活動に取り組む中で、少し難しいかなと思う事があっても、「大丈夫だよ。だって、ゆりぐみだから」と自信に満ち溢れた表情を見せてくれます。ある日、子ども達に「ゆりぐみをどんなクラスにしたい？」と聞いてみました。「楽しい」「何でも諦めない」「友達に優しくする」など沢山ありましたが、皆でひとつにまとめ「ニコニコ、フワフワ、楽しいクラス」となりました。子ども達が毎日「楽しかった」「ゆりぐみになってよかった」と言ってくれるのでとても嬉しく思います。そして、これからも子ども達の思いに応えていけるような楽しい保育を沢山行っていきたくと思います。

保育園生活最後の1年間。様々な経験を重ね、色々な事に興味をもち、何事にも挑戦していけるようにサポートしていきたくと思っています。想像力豊かに自分で考え、意欲的に発言したり、行動する事ができるようになって欲しいと願っています。皆で意見を出し合い話し合う場面を多く取り入れ、子ども達に任せられる所は見守り、たとえ一人でできなくても、友達同士で協力し合い頑張る事ができるような環境を作り、問題解決したり、目標を達成するため試行錯誤しながら乗り越えていく力を育てていきたいです。そして、そこから大きな自信へと繋げていけるようにしていきたいと思っています。

就学についての悩み、保育についてなど気になる事がありましたら、遠慮なく声をかけてください。ご家庭と共に子ども達の成長を見守っていきたくと思います。



きんぐせんぱい



ゆりぐみの部屋には金魚が1匹いて、12年前の夏から毎年ゆりぐみでお世話をしています。

最初は5匹の金魚がいて、その中で1番大きかったのが当時のゆりぐみの子ども達が「きんぐ」と名付けた事や、皆が生まれる前からみなみ保育園にいる事など話をすると「じゃ、きんぐせんぱいだ」と新たな名前が付きまして。毎朝「きんぐせんぱい おはよう」と挨拶する事から始まり、「きんぐせんぱいとお話してくる」と何やら内緒の話をしたり、絵を描いて見せてあげたり、「縦に泳いでる」「口をパクパクしてる」「お腹空いたって言うてる」など話題にしています。絵を描いたり、粘土で作るのもきんぐせんぱいで、クラスの人数を数える時にも「17人と、きんぐせんぱい」と可愛がられています。



「きんぐせんぱい」の絵を描きました。きんぐせんぱいにも見せたら、「上手に描けたね。ありがとう」と言ってくれたそうです。



実験タイム



皆が大好きな実験タイム。どんな些細な事でも「実験タイム」と言えば大盛り上がりです。保育士がやって見せるだけではなく、子ども達と一緒にいき、時々失敗してしまう事もありますが、それもまた楽しみのひとつです。先日は、花壇の花を摘んで押し花作りに挑戦しました。花を摘んでしまう事にドキドキしている子ども達でしたが、押し花が出来ればきれいに咲いたまま大切にできる事を伝え、ひとつずつ丁寧に並べて作っています。また、野菜を切って種を取り出し、土に埋めたらどうなるかを観察中。毎日水をあげながら芽が出るのを楽しみにしています。

